

現行の地域枠に関する課題とその解決策の提案

The issues related to the current regional quotas and a proposal of "nationwide regional quota" as their solutions

大滝純司 (東京医科大学, 国立療養所多磨全生園)
Junji Otaki (Tokyo Medical University, Tama-Zensho en sanatorium)

【背景】日本の医学部医学科入試の地域枠は入学定員の6分の1を超え(図1)医師の地域偏在への対策の中心になっている。この制度の課題について、当事者である医学生、研修医や法曹関係者から具体的な問題提起がなされている。

【目的】地域枠の課題の論点を整理し、解決策を検討し具体的に提案する。

【方法】地域枠に関する医道審議会等の資料、各種の報道、関連イベントの資料、他国の類似した制度、関連する内外の研究論文、医学教育部門の教員や研究者との議論などを通して知見を収集し課題を整理した。解決策として演者が提案している「**全国地域枠**」の具体的な内容についてさらに検討を加えた。

【結果と考察】

＜収集し検討した資料＞

表1に収集し検討した資料の一部とその内容に関する簡略な紹介を示す。地域枠の課題に興味のある方は、ぜひ参照していただきたい。

＜現行の地域枠制度の課題＞

(1) 法的側面

長い義務年限等、他の法律や看護師関連の判例との不整合
過度に厳格な運用による、志望等変更時の犯罪者の如き扱い
医道審議会における私的情事の公開と後付けの恣意的判断

(2) 倫理的側面

志願者のモラルハザードを招く制度
医学生・研修医間の格差意識を強化する懸念
入学者へのパッシングやスティグマ
一地域枠入学者であることを意図的に伏せている大学も

(3) 教育的側面

地域枠医学生の進路を制限することに伴う不利益
地域医療教育の普遍化を妨げる可能性(表1の⑨)
医学部志願者の増加につながりにくい懸念
自治医科大学並みの地域医療教育が他大学で可能か(表1の⑩)

＜解決策の提案＞

全国地域枠

(1) 募集対象者

全国の医師不足地域(基準は公開資料を基に各大学が設定)在住者

(2) 入学後や卒業後の義務

勤務地や診療科などの進路の条件なし

(3) 奨学金

自治体は介入しない
奨学金とは無関係(個人の契約は妨げられない)

(4) 選考方法

学力が大学入学共通テストの点数による足きり方式
←(妥当な閾値はIRで検討)順位はつけない
大学別の学力試験は行わない
←受験対策の格差(地域、経済、教育)を軽減(表1の⑪)
学力以外の能力をMMIなどで測定し順位付け(表1の⑫)
←アドミッションポリシーとの整合性を重視

(5) 期待される効果

地域枠入学者のステータスを向上
大学別学力試験への受験対策からの解放(表1の⑪)
医師不足地域出身医師の多方面での活躍
進学校や受験産業の指導内容を受験学力偏重から転換(表1の⑪)
多様で受験学力以外の能力も高い学生の入学を誘導(表1の⑫)
医師不足地域の高校生等を医療職の進路へ誘導(表1の⑬)

(6) 考慮すべき課題

入学者の動向や受験対策への影響一変化を見ながら少しずつ導入
MMIの内容 ← 海外の例を参考に開発
例1) 本格的ボランティア体験と振り返り
← 英国のWork experience(表1の⑭)
例2) コミュニケーションに配慮が要る相手への説明
← 諸外国のMMI
入学直後の適応への支援
← リメディアル教育に十分な時間を設定
例) 英国のWidening participation(表1の⑬)

【結論】現行の地域枠制度を改善するには、法的、倫理的、教育的な課題を解決することが重要であり「**全国地域枠**」の導入がその一助になる可能性がある。

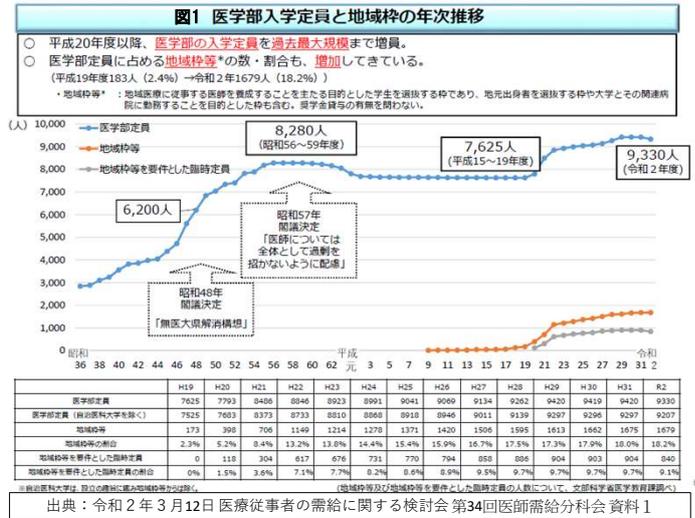


表1 収集し検討した資料(抜粋)

- ① 医学部地域枠は労基法に抵触か 医師の「人身拘束」の懸念 M3.com 医療維新レポート 2021年12月20日 <https://www.m3.com/news/iryoishin/994713>
＜内容＞ 医療法務研究協会のセミナー「医学部地域枠の運用上の法律問題」の詳報
- ② 医学部地域枠、学生へムチ「違約金」最大842万円 人権侵害の声も 朝日新聞デジタル記事 アビタルhttps://digital.asahi.com/articles/ASPDG62VYPDP9ULFA009.html?ref=pc_ss_date_article
＜内容＞ 県の違約金、厚労省の地域枠学生実名リスト配布、医道審での議論などを紹介
- ③ Matsumoto M, et al. Results of physician licence examination and scholarship contract compliance by the graduates of regional quotas in Japanese medical schools: a nationwide cross-sectional survey. BMJ Open 7:e019418, 2017. doi:10.1136/bmjopen-2017-019418
＜内容＞ 地域枠学生は学力に優れ多くが義務を履行していると報告
- ④ 医師確保の頼み綱「医学部地域枠」の実態～若き医療の担い手への重すぎる責務とは?～医学生座談会「医師不足について考える」(上) 時事メディカル 連載・コラム 医学生のフィールド 2022年3月4日 <https://medical.jiji.com/topics/2476>
＜内容＞ 理解不足のままの入学や地域医療教育の不足など実態を指摘
- ⑤ 23年度より医学部定員削減へ「地域枠」で医師偏在は解消できるか～医学生座談会「医師不足について考える」(下) 時事メディカル 連載・コラム 医学生のフィールド 2022年3月11日 <https://medical.jiji.com/topics/2478>
＜内容＞ 地域枠拡大の一方で医学部の総定員削減する政策への疑問
- ⑥ 医学生が覚える「地域枠制度」への違和感 2022年3月9日 MRIC by 医療ガバナンス学会メールマガジン Vol. 22055 <http://medg.jp/mu/?p=10834>
＜内容＞ 一学生から見た地域枠制度の問題点と改善策の提案
- ⑦ 厚生労働省 医療従事者の需給に関する検討会 第34回医師需給分科会資料 2020年3月12日 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10138.html
＜内容＞ 地域枠制度の経緯、現状、離脱者割合と理由の分析など
- ⑧ 日経メディカル 介護師・田邊昇の『医と法の視点』医師を縛ることはできるか～コロナ徴令と地域枠～ 2021年9月17日 <https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/series/tanabe/202109/571848.html>
＜内容＞ コロナ禍の影響も含め地域枠の法的問題や類似の判例を検討
- ⑨ Sullivan BO, et al. Rural work outcomes of medical students participating in a contracted Extended Rural Cohort (ERC) program by course-entry preference. Medical Teacher 41(6):703-710 2019. doi: 10.1080/0142159X.2019.1569755
＜内容＞ 地域枠以外の医学生に地域医療教育を行うことが最も効果的だった
- ⑩ 賀来 敦, 松下 明 日本の医学部入試地域枠制度の全容並びに問題点と提言—全国医学部募集要項横断研究 日本プライマリ・ケア連合学会誌 38(1):31-37,2015 https://www.jstage.jst.go.jp/article/generalist/38/1/38_31/article-char/ja/ doi: 10.14442/generalist.38.31
＜内容＞ 制度構成の問題点、教育支援実施率の低さなどを指摘
- ⑪ Otaki J, et al. Factors that hinder medical career aspirations: A nationwide questionnaire survey of teachers in charge of career guidance in Japanese high schools. PLoS ONE 17(6), 2022. doi: 10.1371/journal.pone.0270477
＜内容＞ 日本の非都市部等からの医学科進学を阻害する要因を調査し解析
- ⑫ Eva KW, et al. Association Between a Medical School Admission Process Using the Multiple Mini-interview and National Licensing Examination Scores. JAMA. 2012;308(21):2233-2240. doi:10.1001/jama.2012.36914
＜内容＞ 入試のMMIで合格基準に達した医学生の方が医師国家試験での成績が良かった
- ⑬ Widening participation in medicine: what, why and how? <https://www.bma.org.uk/advice-and-support/studying-medicine/becoming-a-doctor/widening-participation-in-medicine>
＜内容＞ 格差社会の英国で若者に医療者を志望して進学することを促す政策
- ⑭ Medical Schools Council Work experience <https://www.medschools.ac.uk/studying-medicine/making-an-application/work-exp>
＜内容＞ 英国の医学校志望者に受験前に本格的な現場体験学習を強く促す制度

提示した資料のリストおよび、それら資料の⑩に挙げた演者(大滝)の論文をプリントしたものです。ご自由にお持ち帰りください。

日本医学教育学会大会
COI開示
筆頭演者名: 大滝 純司

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。